

1 経営協議会における運用の工夫改善と法人運営への反映

- (1) 審議事項、報告事項は簡潔にわかりやすく迅速に (30分) (3) 事前に資料 (現状、方針、データ等) を送付
 (2) 毎回テーマを設け意見をいただく (60分)

2 これまでのテーマ等

開催日	テーマ等	大学運営に反映した事例
H21. 12. 1	○学長に就任しての運営方針	
H22. 1. 25	①求められる人材 >「全学教育機構」創設経緯、最近の就職状況等	①新しい教養教育システムの確立を目指す「全学教育機構」の創設
	②佐賀大学に期待する社会貢献 >「6者協定」、社会貢献の組織等	②医師会、佐賀県との医療分野におけるICT化への取組み、認知症サポーター養成講座実施
3. 25	○学生支援体制 >学習、経済、就職、その他の支援	学長企業訪問・高校訪問実施、かささぎ奨学金創設
H22. 6. 4	○財務レポート >21年度の決算に併せて	更に可視化できるレポートへ
10. 20	○佐賀大学における今後のキャンパス整備の方向性について	地域に開かれた美術館設置
H23. 1. 17	○附属病院の再整備について >附属病院再整備計画	県立病院との分担の更なる明確化
3. 22	○多額の経費を伴う主要事業について	海外派遣留学生経費の設置
H23. 6. 24	○大学における人間教育のあり方について >キャリア支援、教育実習等の状況、全学教育機構設置概要、インターフェース教育等	入口から出口までの「面倒見の良い大学」を目指していく上で、全学教育機構体制で活用
10. 31	○佐賀大学美術館・正門整備について >美術館及び正門整備の経緯、基本構想、佐賀大学統合10周年記念事業等	本学学生、卒業生、教職員等を対象に正門整備のアイデア募集を実施し、建設
H24. 1. 27	○佐賀大学IRについて >佐賀大学版IR完成イメージ、コンセプト、出力機能イメージ例等	IR室の設置と専任職員の配置
3. 19	○産学・地域連携による社会貢献戦略について >現在の社会貢献の取組、産学・地域連携機構(仮称)の組織・新たな事業展開	産学・地域連携機構の設置。リーディング事業の展開

1 経営協議会における運用の工夫改善と法人運営への反映

- (1) 審議事項、報告事項は簡潔にわかりやすく迅速に (30分) (3) 事前に資料 (現状、方針、データ等) を送付
 (2) 毎回テーマを設け意見をいただく (60分)

2 これまでのテーマ等

開催日	テーマ等	大学運営に反映した事例
6. 25	○最近の高等教育行政と佐賀大学の取り組み > 大学改革実行プラン等の概要、佐賀大学の取り組み、認知症サポーター養成の展開等	各学部のミッションの再定義。
10. 31	○附属病院の役割と現状 > 附属病院の目標・理念に基づく取り組み	
H25. 1. 25	○附属学校園の使命と課題 > 地域貢献、発達段階・個人の特性を見据えた教育、厚い学部関与、大学と連携し実践力のある教員の育成	
3. 28	○大学改革実行プランへの取組みの中のCOC機能	
H25. 6. 10	大学入試改革に向けた検討	卒業時に必要な能力として考えている英語力について、平成25年度入学生からTOEICの全員受験を課した。
11. 14	佐賀大学のこれまでとこれから	
H26. 1. 27	佐賀大学における研究推進 > COC構想に重点を置いた研究戦略、特定の分野に世界で競うことのできる研究領域を有する大学として	
3. 26	佐賀大学の将来構想と新学部設置 > 文化教育学部の改組と新学部設置構想、新たに社会から求められる理工系人材の育成機能を強化した理工学部、農学部の再編成	
6. 23	組織再編 > 国立大学を取り巻く環境・佐賀大学改革プラン・全学的な組織再編	芸術学部構想
10. 23	第3期中期目標・中期計画作成の基本方針 > 最近の大学を取り巻く教育行政の方向性、第3期以降に向けた課題と戦略、大学改革実行プランなど	有明海創生の中核。佐賀ブランディング。技術開発と広報戦略を県と大学が共同で行う。
H27. 1. 20	佐賀大学改革プラン > 機能強化の方向性と予算等・学内規則等の見直し・佐賀大学改革プラン～地域に必要とされる「佐賀の大学」を目指して～	地域活性化への取り組みに期待。農業（食品）ベースの新しい技術など。

1 経営協議会における運用の工夫改善と法人運営への反映

- (1) 審議事項、報告事項は簡潔にわかりやすく迅速に (30分) (3) 事前に資料 (現状、方針、データ等) を送付
 (2) 毎回テーマを設け意見をいただく (60分)

2 これまでのテーマ等

開催日	テーマ等	大学運営に反映した事例
H27. 6. 22	○第3期に向けて > 国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて、見直しの考え方・方向性、見直し内容、運営費交付金の配分方法等	機能強化の方向性等として、重点支援①「主として、地域に貢献する取組とともに、・・・」を選択。
11. 16	○運営費交付金の削減・大学独自の財源確保・大学に求める人材教育・推進すべき研究	
H28. 1. 28	○第3期中期目標・計画で取り組むべき佐賀大学の入試改革 > 「佐賀大学版CBT」の開発、「継続・育成型の高大連携カリキュラム」の開発	
3. 15	○人材育成 > 「人材育成～芸術的感性の醸成にむけて」について	
6. 3	○自主財源の確保に向けて > 国立大学法人等が実施することのできる「収益を伴う事業」の考え方について等	